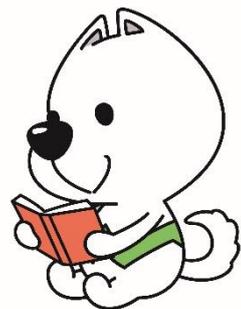


令和6年度 読書推進フォーラム

まだ見ぬ本との出会い

～あなたの好きな本、教えてください～

報告書



概要

令和6年度 読書推進フォーラム

1 テーマ

まだ見ぬ本との出会い～あなたの好きな本、教えてください～

2 趣旨

中高生の読書について、幅広い世代に現状を知ってもらう機会とする。また、本を通じた人との交流を通じて、新たな読書との出会いを創出するとともに、読書が人生をより豊かにし、生きる力に繋がることを伝える。

3 主催

和歌山県教育委員会

4 対象

どなたでも

5 日時及び会場

日時 令和7年1月19日(日) 13:30～16:30

会場 和歌山県立図書館2階 メディア・アート・ホール他

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-38 (TEL: 073-436-9500)

6 参加者数 56名

7 日程

(1) 開会

(2) 記念講演 「10代の読書の今 大人も知っておきたい新常識」

講師 飯田 一史 氏 (ライター)

(3) シークレット交換会

(4) 閉会

13:00	13:30	13:40	15:10	15:30	16:20	16:30
受付	開会	記念講演	休憩	シークレット 交換会	閉会	

記念講演

「10代の読書の今 大人も知っておきたい新常識」

ライター 飯田 一史 さん

(概要)

【データから見る10代の読書】

- 書籍と雑誌では傾向が違う
- 書籍読書量は小中学生 = 過去最高、高校生や大人 = 横ばい
- 「買う」と「読む」「借りる」を混同しない
- 調査の方法や対象の母集団に注意
- 小中学生の国語力、読解力は下がっていない
- スマホ普及の影響力は少ない
- 「小・中学生」と「高校生以上」は分けて認識・議論すべき
- 特性・発達に合わせた読書推進が重要



【実際よく読まれている本の特徴・傾向】

- 思春期の一般的な傾向に基づく中高生の3大ニーズ
 - ① 正負両方の感情に訴える
 - ② 読みやすくわかりやすい、読む前から得られる感情がわかる
 - ③ 10代の自意識、不満、反抗心、本音に寄り添う内容である
- ニーズを満たすための5つの「型」
 - ① 余命もの、死者との再会・交流
 - ② 自意識 + どんでん返し + 真情爆発
 - ③ デスゲーム、サバイバル、脱出ゲーム
 - ④ 子供が大人に勝つ
 - ⑤ コメディ、ユーモアミステリー
- ウェブサービス等、「出所」は新奇でも求めるもの自体の変化は少ない
- 社会の価値観の変化には敏感に反応

「シークレット交換会」

- 15名の方に参加いただき、持ち寄った本を中身が分からない状態で交換しました。

【シークレット交換会 次第】

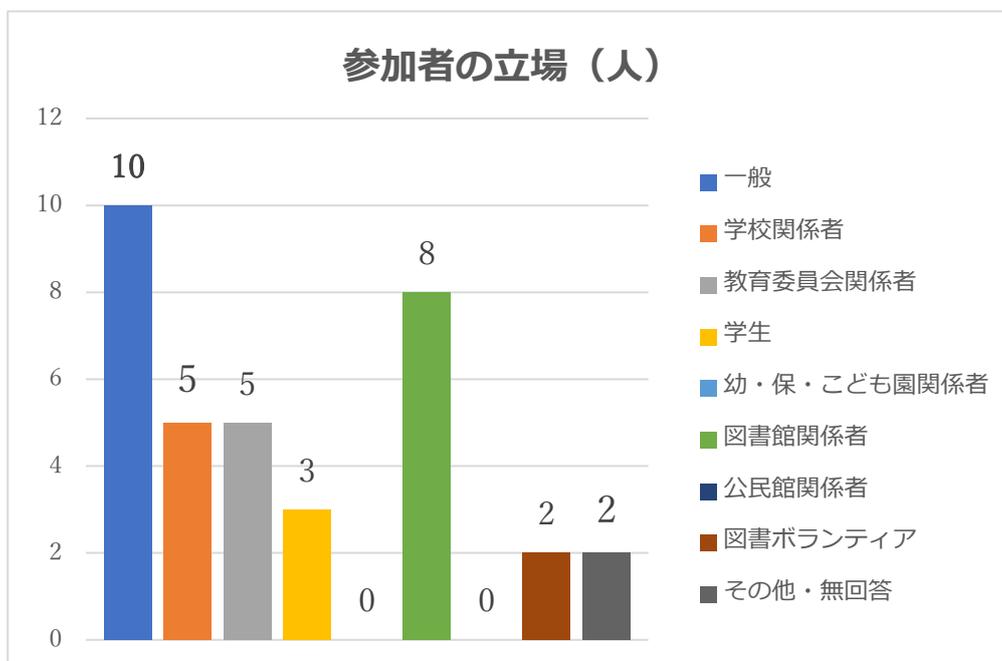
- (1) くじ引き
- (2) 本の開封
- (3) 持参いただいた本の紹介（お一人5分程度）
- (4) フリータイム



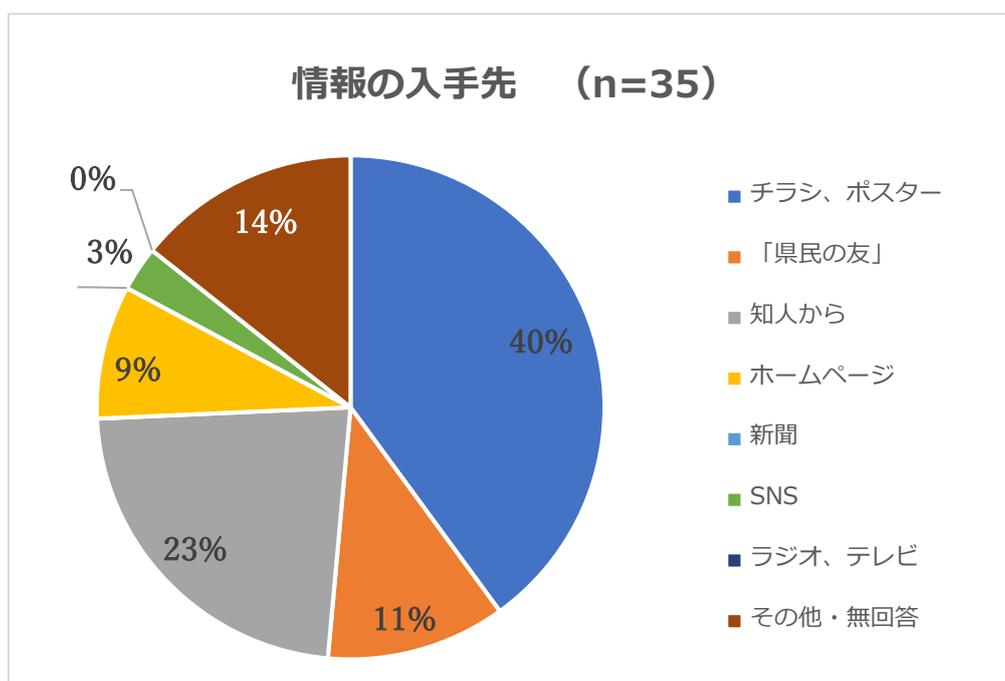
アンケート集計

(回答数：35)

1 本日のフォーラムにはどのような立場で参加されましたか。

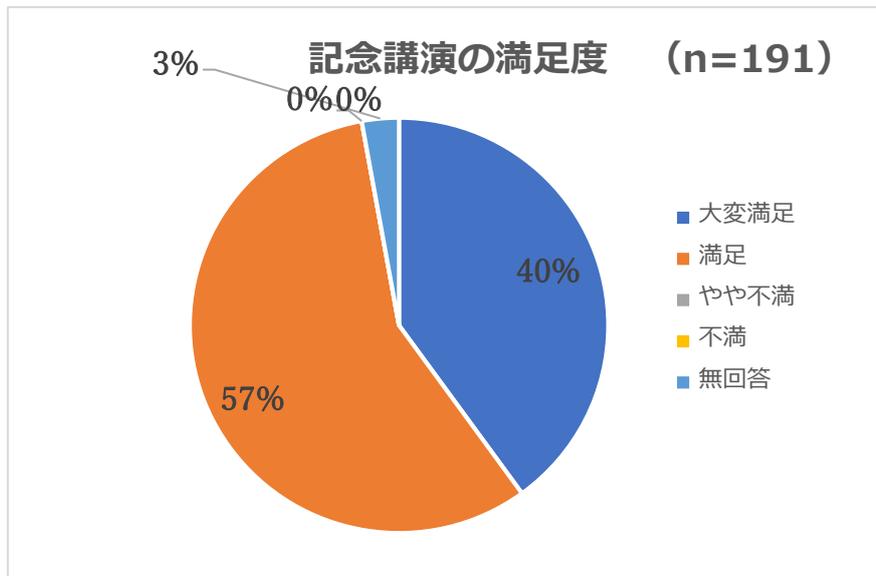


2 本日のフォーラムをどのようにして知りましたか。



3 本日のフォーラムの感想をお聞かせください。

① 記念講演

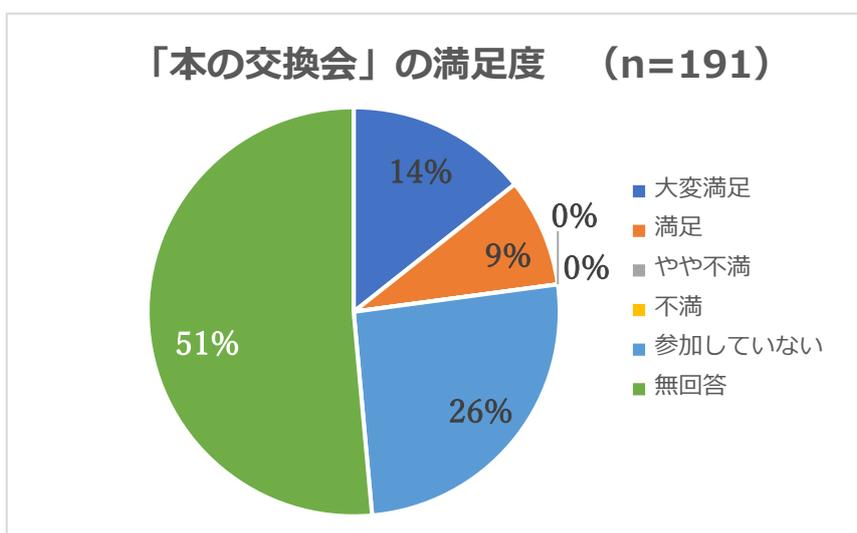


- 色々な情報をありがとうございました。(一般)
- 高2、中3の女子の母です。何読んでるのかな？と気になっていましたが、心配するようなことではないと、先生のお話から理解することができました。子どもとの壁が一つ取り除けたような気になりました。ありがとうございました。(一般)
- 今の10代の読む本の種類を詳しく知ると、改めて一様になってきているように感じました。本に優劣はありませんが、大人まで続く読書習慣に繋がらなさそうだと思います。(一般)
- パワポのレジュメがあればさらによかった。(一般)
- 読書離れが学力低下に繋がっていると判断するのは危険だと気づけてよかったです。自分は教育関係者でも図書館関係者でも出版関係者でもないですが、いかに普段からメディアの情報だけに頼って物事を判断しているかに気付かされました。学生さんがどのようなカテゴリの本に興味があって、どのような理由でそれらが人気なのかという分析はとても興味深く聞かせていただきました。実は40代の私も同じような理由でそれらのカテゴリの本や映画が好きであると気づき、私の精神年齢は・・・？となりました。それも興味深い発見でした。(一般)
- データがあって説得力があった。(学校関係者)
- 飯田一史先生の講演を2年前にも聴講したことがありました。今回、事前に読んでいた飯田一史著『若者の読書離れ』というウソ 中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか』(平凡社新書 1030)を手元に聴講しました。映像化された作品は、むしろ映像で観るから読まない傾向があります。中高生が好む作品の共通点、まさしく貸出されている本だったので、担当者としてはホッとしました。また、TikTok発ヒット作品は生徒もチェックしており、スマホを片手に来館します。今回講演では紹介されませんでした。書籍で紹介されている韓国エッセイは女子高生や肯定感を求め、貸し出されています。スターズ文庫は男子にも人気です。YouTuberやTikTokerの本をチェックしてリクエストしてくれるようになっています。学校図書館としては中高生の読書の傾向を注意深くとらえ、より読書の幅を広げてもらえたらと思います。興味関心に応えられる選書をしたかったです。今後の読書分析は、読書アンケートをとるとき、紙の読書だけでなく、デジタル(電子書籍をはじめ、さまざまな小説投稿サイト)もカウントして、とらないといけないなと感じました。身近で手軽なデジタルツールを通じて、動画やSNSなどが中心かもしれませんが、デジタル視聴は大人よりも中高生の方が多いと思うので、実は活字には触れているのでは？とも思いました。最近『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』三宅香帆/著(集英社新書)を読んで、今回の講演をふまえ、学校図書館はもちろんメインは小中高生の読書ですが、より一層保

護者を読者への誘いの対象にすべきでは？と感じました。（学校関係者）

- 不読率への考え方が、衝撃的でした。（教育委員会関係者）
- データやエビデンスに基づく、分かりやすい話でした。私自身は古い読書観の持ち主なので、スライドに表示された絵にかなり抵抗があるのですが、こどもが読みたいと思う本でなければ読まれることもなく、購入や貸し出しに結びつかないので、私も多様性を受け入れていかなければならないなと思いました。（教育委員会関係者）
- レジメ（資料）があればいいのと思った。（教育委員会関係者）
- 私は中学生だから、もっとたくさん読書をしてどんどん知識を増やしていきたいと思った。（学生）
- お父さんが「今の人は本よまない」と言っていたことがあるので、ちがうとしくてよかった。（学生）
- 講演を聞いて私は本をあまり読まなくなりましたがそれは成長すると本を読まないことを知ることができました。（学生）
- その場で資料があればより分かりやすかった。（図書館関係者）
- 分かりやすくタイトルを例にした説明でとても参考になった。（図書館関係者）
- 高校生を相手にしている立場なので（高校図書館司書）大変参考になりました。うすうす感じていたことをすべて言語化していただけてスッキリした。（図書館関係者）
- 中学生までと高校生以上では、外部からの影響の受け方が変わるため、読書推進のアプローチ方法を変えなければいけないという気づきを得られました。人気のある本の傾向も分かりやすく、実情に沿っているように感じました。今の子どもたちは本や読書の情報を「誰から」「どんなコンテンツで」知りたいと思っているのか、どうすれば効果的な読書推進ができるのか、年代別で絶えず情報収集する必要性を感じました。とても勉強になる講演をありがとうございました！（図書館関係者）
- データ等に基づいたお話で、大変ためになりました。また、よく読まれている本の紹介も、具体的なタイトルを提示していただいたので、参考になりました。（図書館関係者）
- たくさんのデータや分析をきかせていただき、ありがとうございます。前半では読書と学力にばかりフォーカスされていて、心の豊かさの面は数字に出ないのでしかたないと思いながらもあらら…と感じていましたが、後半の今の若者の傾向を聞き、また本の内容も分かり、少し安心しました。（図書ボランティア・読書ボランティア）
- 読書の常識を見直す機会になりました。（その他）
- 幼少期時代はしっかり絵本など読書を通して心を育てる事が大切だと思いました。大人になってくると環境や固定観念が出てきたりして、絵本や本を見る機会が少なくなりますが、作者の想いを知ることが大切だと思います。（その他）

②本の交換会



- 自分の知らないジャンルの小説などをいっぱい知ることができ楽しかった。（学校関係者）
- シークレットでどういう感じの本がくるか全く想像できないのは参加しづらく感じた。（学校関係者）
- どんな風に実施されるのか楽しみに参加しました。名前も年齢も職業もしらない、その場に出会わせた人が「本」を通じて会話して楽しいひとときでした。それぞれの思いのこもった本を交換するのは、楽しいですね。ファシリテーターの方がうまく会話を引き出して下さっていたのであっという間で、ちょうど良かったのかなと思いました。どんな本が交換されたのか、持参されていたのか全体に情報共有できたらよかったですのかなと思いました。フォームズなど利用して、事前に交換する書籍リストを参加者に回答してもらってもよかったのかなと思いました。当日会場にQRコードを表示しておけば、リストはすぐできるだろうになあと。（操作が苦手な方には会場受付で代わりに入力するなど）あとで公開予定なのか？それも含めてのシークレットなのか。寄せられた本のリストがあれば、県立図書館など所蔵書籍などコーナーで紹介につなげられるのでは？と思いました。飛び入り参加のブースもあればよかったのかなと思いました。（学校関係者）
- グループにいろいろな年代の方が集まり、お立場も多様で普段読まない本を紹介ただけてうれしかったです。本から話が広がって、学校生活や仕事、日々の活動や昔見た映画等楽しくしゃべって時間があっという間に過ぎました。ファシリテーターさんの読書量にも驚かされました。進行もスムーズにしていだきました。（教育委員会関係者）
- 交換会は初めてだったので不安でしたが最初から最後まで楽しむことができました。（学生）
- いろいろなお話がきけてよかったです。帰って本を読む楽しみができました。（図書館関係者）
- とてもおもしろい話がきけました。（その他）
- グループのみなさんひとりひとりの持参された本の想いを知ることが出来てうれしかったです。（その他）

4 「本を読むこと」をはじめとした「学び」や「生涯学習」について、やってみたいことや希望するイベント、ご意見等があればお聞かせください。

- 国際バカロレアやリーディングワークショップなど、学校教育の中の読書教育を実践している方のお話が聞ければ良いと思います。（学校関係者）
- （交換会で）「読書カフェ」の話題が出たのですが、時間が足らず話を聞くことができませんでした。本を通して語らう時間は素敵だなと思います。（教育委員会関係者）
- 読書系ユーチューバー、TikToker などの方にぜひ話を聞いてみたいです。（図書館関係者）
- 読書を通じて人生に影響を受けた著名人の講演をききたい（毎年著名人の話をきけることはとてもありがたいし、県が力を入れてくださっている…と思えるからすばらしいです）
 - ・読書を通じて人生に影響を受けた人同士のブックトーク
 - ・以前県立図書館の司書さんから読み聞かせに向く絵本の紹介を詳しく伺ったことがあり、とてもよかったです。そんな企画もすてき
 今年度は会場が小さくなりました。少し残念です。もっと広報を（フォーラムだけでなく読書の推進全般で）してもらえたらなと思います。（図書ボランティア・読書ボランティア）
- もっとPRしておく必要がある。（その他）